

東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

10 秋の夜長の月号

# 福玉便り

2014年10月1日(水)発行

ふく たま だ よ り

通巻 第29号

発行『福玉便り』編集委員会 (一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉・生活協同組合コープみらい埼玉県本部

編集デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉メール:fukutama@431279.com

連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-21 TEL048-833-8731

印刷協力:富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部

食卓を笑顔に、地域を豊かに。

## コープみらい フェスタ in スーパーアリーナ

11/2 日

10時～16時

会場 さいたま  
スーパーアリーナ

入場無料



同時開催

- 国際フェア 2014
- さいたま THE(地)スイーツフェア
- 医療生協さいたま健康フェスタ

「食べる、たいせつ(食育)」をテーマに開催します。人気のコープ商品や産直野菜、東北からのお取引先など約80社が試食・販売する物産展や親子で楽しめる食の体験企画、ステージをお楽しみください。

会場には、東日本大震災復興支援団体や避難者の団体による、物産販売や活動の紹介をはじめ、福島県の子どもたちが「夢、希望、未来、ふくしま」をテーマに描いた絵を展示し、避難生活を続ける皆さんの交流スペース

を提供します。

【主催】生活協同組合コープみらい 生活協同組合連合会コープネット事業連合

【同時開催】国際フェア2014/さいたまTHE(地)スイーツフェア/健康フェスタ

【問合せ】コープみらい埼玉県本部 048-839-2711(9時～17時 日祝休)

## 小高商業高校の 「だいこんかりんとう」 を販売します。

さいたま市中央区民フェスタ

2014で、小高商業高校の生徒が考案した「大根かりんとう」をさいたま市地域労福協が販売します。同じ TENT で、双葉町の森さんが作った茶饅頭、双葉撫子が制作したベストなどの絹製品や「ふくろうブローチ(好評です)」なども販売します。

※「福玉便り読んでます」で「大根かりんとう 1袋」プレゼント(18日のみ:先着30人)



◎開催日 2014年10月18(土)・19日(日)

◎販売時間 午前10時～午後4時

◎会場 さいたま新都心「けやき広場」特設テント

◎問い合わせ 埼玉労福協(電話 048-833-8731)まで

## 「弁護士による無料法律相談会」

埼玉労福協では、10月16日(木)から毎月第3木曜日の午後1時～午後4時に下記の2カ所で「弁護士による無料法律相談会」を開催します。もちろん「原発事故にともなう損害賠償」や「ADR」も相談できます。ぜひご利用下さい。

(1)川越会場:ライフサポートステーションネット21川越(電話 049-292-1521)担当弁護士:岡本卓生先生

(2)熊谷会場:ライフサポートステーションネット21熊谷(電話 048-598-6321)担当弁護士:小屋野匡先生

※2会場ともに事前に予約が必要です。

NHKで放送された「広域避難者」に係わる「DVD」のお貸出しいたします。

2013年8月、2014年2月、2014年7月に「首都圏避難者と浪江町復興支援員」を取り上げたNHK番組が放送されました。この録画DVDの貸出を行うことにしました。サロンや交流会、バス旅行の際にご利用下さい。

◇貸出申込先(一社)埼玉労福協  
電話 048-833-8731



# 「人ひとり」が「きらり」と輝きますよ

8月23日(土)、伊奈町で行われた「伊奈まつり」の会場で、伊奈町とその周辺に住んでいる方々の被災者の会をつくろうというよびかけるテントが設けられ、多くの方が訪れました。テント脇には「まけないっちや・きらり」と書かれた青い手染めののぼり旗。

この日は、さいたま市に避難中の方、もともと上尾にいた方で伊奈に移住していた方、地元

のさまざまなボランティアさんなどたくさんの方がテントをおとずれて、おしゃべりの花が咲いていました。この日紹介された新聞の記事を友人からもらって、開始の時間にかけて



けた方もいらつしやったそうです。その方は、いままでどなたともつながったことがなかったそう、今回がはじめてのことでした。

この「きらり」をよびかけたのは、高橋美江さん。石巻市から息子さんがいる埼玉に避難。13年1月に伊奈町に移住(福玉便り16号でもご紹介させていたでいます)。

「伊奈町にきて1年半たつて、だんだんとまわりも見えてきたこと、福玉会議などに出て、皆さんが他のいろいろな地域で、呼びかけて会をたちあげていらつしやるのを知り、私ものなにかできないかと考えていました。

同じ伊奈に避難した方々がどういう気持ちで暮らしているのか気になっていました。ひきこもっているのかな、積極的に出かけていっているのかな、と。それで、事情がわからない者同士、情報交換できたらいいな、何か一緒にできたらいいな、と思ひよびかけました。」

高橋さん。この日は、特製「五目いなり」を持参。訪れた方にふるまっていらつしやいました。

た。

「人のつながりのだじさは、田舎にいた時はあたりまえすぎて、気付かなかつたことです。震災では若い人もたくさんなくなりました。生かされた命です。これまで、いろいろな方に応援をしてもらいました。何かおかせしができればという思ひで、今回よびかけさせていただきました。」

のぼり旗は、埼玉に来てから習いはじめた染め物の経験を活かしてつくつたそうです。「きらり」がだじいなよ」と高橋さん。「きらり」には、それぞれの方がその人なりに「きらり」と輝いてほしい、そんな願ひが込められているそうです。

「地道に声をかけて少しずつでも広げていきたい。」とのことでした。(編集部・西川)



お手製の五目いなり



## みんなの力で相馬盆踊り大会

8月30日、ふじみ野市福岡中央公園にて「おあがんなんしよの相馬盆踊り」が開催されました。地元の町内会や支援員さんの協力を得て、櫓組立やテントの設営・提灯付けなどを行い準備が整ったところで、公園内特設テント内では第一部の「東北の方々集まりましよう!!サロ」が始まりました。久しぶりにお会いした方々、「浪江出身だよ」と顔を出してくれた公園近くの店主さん、越谷の浪江焼きそば隊のみなさん、懐かしい話題に盛り上がりました。

第二部はふじみ野市長さんのご臨席を賜り、オーブニングセレモニーに続き、太鼓・笛の音に生唄で相馬盆唄に合わせて踊りが始まりました。三重の輪が出来、繰り返し賑やかに踊りました。途中から相馬盆唄のふじみ野版も披露され、新河岸川や武甲山なども歌の中に登場しました。櫓の上には大熊町の同級生と会津若松から駆け付けた



大熊町職員も参加し、櫓からはみ出さんばかりの熱狂でした。後半は市民のみならずも加わり踊りの輪が広がりました。200食の浪江焼きそばも完売でした。

(おあがんなんしよ実行委員会 松館)

# 田村市都路を訪問してきました

9月18日、ふくしま連携復興センター主催の都路地区現地実習があり、浪江町復興支援員の大柿さん、コーディネーターの石上さんと労福協・永田の3名で参加してきました。

福島県田村市都路地区は葛尾村・浪江町・大熊町・川内村に接する地域で、今年の4月1日に「避難指示が解除」されました。東日本大震災による地震の影響は少なく、家屋の倒壊は1軒だけだったそうです。避難指示解除から半年たった現

在、都路地区の住民90世帯・2900人のうち、半数にあたる1500人が帰還し生活しています。小学校も再開されました。

しかし、半数近い住民の多くは田村市内の仮設住宅などで暮らしており、田村市では「復興支援員事業」を活用して「田村市復興応援隊」を組織し、都路地区で事業を行っています。

## 田村市復興応援隊

「田村市復興応援隊」は、避難先からの帰還に係る支援として、高齢者宅の雪かきや草刈りなどの「生活支援」、地域住民の新たな取り組み「応援隊では「復興のタネ」と呼んでいます）を支援する「地域活性化支援」を主な活動としています。（※お願いすればすぐ対応して頂けるそうです。）

そして今回の「現地実習」はこの「田村市復興応援隊」みなさんにご案内頂きました。

最初に伺ったのは、都路地区に9つある行政区の代表を務める坪井さん宅でした。

坪井さんは、「解除になっ

ただだから帰れと言われても、若い人は戻れないよ。住むところはあっても仕事がない。都路は解除されたが、周りの葛尾村・浪江町・大熊町へは行けない。これでは生活できないよな……でも戻ってきた高齢者は、応援隊のおかげで元の生活を取り戻しつつあるよ。行政では上手く回らないようなことを応援隊に頼んでいる。」と前向きに語っておられました。

## よりあい処「華」

次に、6月1日に都路町古道にオープンしたよりあい処「華」を訪問しました。「華」は古民家を改装したもので、都路に住む方や都路を訪れた方の交流の場となつていきます。今回はご馳走になれませんでした。月・水・金曜日には、1日限定15食のランチ(500円)もあるそうです。

「華」の所有者である今泉富代さんは「気軽に集まって話をしたり、ご飯を食べたり、お茶を飲んだりする憩いの場所にしたい。ぜひ一度、足を運んで下さい」と



笑顔で話されていました。

「避難指示解除」はこれから順次拡大されます。避難された人の中には、「避難先での生活になれてしまった方（そして転居された方）」も多くいらっしゃいます。

一方で、避難元自治体（地域）や一足先に戻った方は「元の生活」を取り戻すために知恵を出し合つて頑張っています。

例えば「元の住民の帰還」だけにこだわらないで、首都圏に住むリタイヤ組などが「第2の人生」の場として、川内村や都路で生活することを支援することも復興につながるのかなあなどと考えながら田村市をあとにしました。（編集部・永田）



都路地区にある田村市復興応援隊の事務所



坪井さんのお宅



都路の生活を支える復興商店

避難住宅を考える⑤

【原発被災者がともに住宅問題を考える集会】

9月19日、参議院議員会館にて、「原発被災者がともに住宅問題を考える集会」がひらかれ、避難当事者・支援者が、各地の状況報告と意見交換がなされました。

冒頭にS A F L A N(福島の子どもたちを守る法律家ネットワーク)の河崎健一郎弁護士が住宅問題の概要を説明しました。

現在、弾力運用されている「災害救助法」は長期避難を想定していないので、さまざまな問題を解決できていない、と話し、「新規受付再開」柔軟な住み替え「1年ごとの更新の不安定さ」という問題点を挙げました。



今回 集会では、住宅署名の実施状況や、住宅問題に関するアクシオンについて4人の方が現状報告をしています。

まず最初に、「避難・支援ネットワークかながわ」の坂本建さんがお話されました。坂本さんは、富岡町から神奈川県に避難されていらっしゃるといいます。今年の7月から署名集めを開始し、8月31日の一次集約までに約2300筆

が集まったそうです。

「避難指示区域外・避難指示区域の方、両方が協力してやっていけたら」と思っている。第二次集約は10月末。多くの団体に協力いただいて、署名活動をすすめていきたい(坂本さん)

全国組織も念頭におきつつやっていきたい、とお話されました。続いてお話された(ぐんま暮らし応援会)の西川正さんは、司法書士。群馬県内のNPO法人・社会福祉協議会と一緒に、支援に取り組んでいます。

「事故当時、まったく選ぶ余裕もなく、お母さんとお子さんで引っ越しをして、最近になってお父さんが引っ越ししてきた。というような事例もある。IDKでは対応できるわけではない。具体的に『困っている』という事例の集積が必要なのではないか」とい

いかと思う。(西川さん)

そして、震災支援ネットワーク埼玉(SSN)の愛甲裕さんも、SSNのアンケート調査でわかったことを交えながら、埼玉の現状をお話されました。「埼玉県のある市では、4月に決まった延長の知らせが行った。信じられないこと。また、現在、4階に住んでいるけれど、膝の状態が悪化して、買い物が大変だ、というおばあちゃんもいた。その状態でも、住み替えが認められていないことは問題だ」(愛甲さん)

山形県では特別な事情がある場合にのみ、住み替えを認めている、適応された世帯が30数件ある、という事例もお話されました(※)。

最後に、北海道に避難をしている中手聖一さんが、札幌市で9月初旬に行われた、住宅を考えるシンポジウムの様子も絡めてお話くださいました。

「私たちは、健康で文化的に生活する権利をもっている。公的機関が支えていくもの、保証していくもの、だという視点が必要、という話もシンポジウムで出た。住宅支援という点、賠償も絡めた、過去を向いた議論になりがちだけれど、これからの住宅支援を考える、避難されてきた方と一緒に、未来志向で考える支援が求められるのかもしれない——という話も出た」

特に、自治体レベルの協力も求めているからいいのではないかと、中手さんは話します。

また、会場にいた小口幸人弁護士から「新たな立法措置」についても意見がありました

「地震や津波ではない状況を災害救助法で対応するのは無理だろう、と思う場面がある。だからこそ、日弁連からも新たな立法措置を求める意見書が出ている。放射性物質の半減期を考えると、やはり根本的な対策が必要だと思う。帰還、賠償の打ち切りという流れがある。今の延長線上では、切り捨てられてしま

うのではないかと思う。この先に見えている未来でいいのか、苦しみ、怒りをぶつけて、語りかけていく活動をしていっていただければ、弁護士も、支援者も力になつていきたい(小口さん)

現在、避難・支援ネットワークかながわでは、第二次のメ切にむけて署名活動が行われ、連携避難者団体や賛同団体も関東からじわじわと増えています。もし、賛同したい、署名したいという方がいらつしやいましたら、避難支援ネットワークかながわの坂本さん

(Eメール: info.hsink@gmail.com)まじつ連絡ください。(電話: 090-8255-8018)

(編集部/伊藤)

応急仮設住宅の住み替えについて、聞いてみました

●問い合わせをしたいときはこちら

埼玉県住宅課 048-830-5555

「埼玉県でも、住み替えの実績はゼロではありませんが、避難元自治体との相談が必要です。個別に事情を詳しくお伺いすることになりますが、まずはお電話で相談してください。ただし、誰でも100%住み替えができるわけではない、ということをご承知おきください」とのことです。

●避難元自治体の住み替え許可基準は?

- 1、貸主都合の退去を命じられた場合
- 2、病気や怪我でどうしても住めない、住むことが困難だ、と、客観的に認められる場合(この時には、医師の診断書などがあるといいです)
- 3、事件・事故によるもの、DVやストーカー被害など(この際も、配偶者暴力相談支援センターに書いていただいた書類、或いは警察による書類などがあるといいです)

明確な基準があるわけではないので、とにかく、困っている場合は、まずは相談してみたい、とのこと。なお、子どもが生まれたなど「手狭になった」という理由での住み替えは認められていないとのこと。避難の長期化を考えると、やはり、行政による、何等かの支援の枠組みが必要であることを強く感じます。

# 双葉町埼玉自治会 盆踊り大会



8月23日、旧騎西高校にて双葉町の盆踊り大会があり、400人を超える方が集まりました。

双葉町では、埼玉自治会を結成し、現在、百十数世帯が会員になっています。その埼玉自治会が中心に行われた、今回の盆踊り大会。やぐらの上での生歌、生太鼓、また、会場には屋台も出ていて、とても賑やかでした。

お話ししてくださったのは、自治会長の藤田博司さんの妻のヨネ子さん。やぐらは、加須市の立山地区の

方たちが貸してくれたのだとか。歌や太鼓も、練習に練習を重ねて、今日を迎えたそうです。

「双葉町に居た頃は、仮装大会のような盆踊り大会もやっていましたよ——」

ヨネ子さんは、「新元気農園」で採れるたくさんさんの夏野菜についてもお話してくださいました。19人で運営している新元気農園で収穫したものを、おすそ分けして歩いているそうです。

「旧騎西高校から違う場所引越した人にも、この盆踊りで会えるね」と、お話ししてくださいました。

また、旧騎西高校を巡回して診察を続けていた内科



医の篠崎先生も、盆踊りに来られていました。「みなさん、とても楽しそうですね」と声をかけると、「そうですね・・・嬉しいですが、みなさん、いろいろ乗り越えてこられていますから」目を細めて、そう言います。

「最初は、教室を強制的にまわっていました。みなさんの居住スペースに、すみません・・・という感じですね。体調を崩される方も、いらっしやいました。」

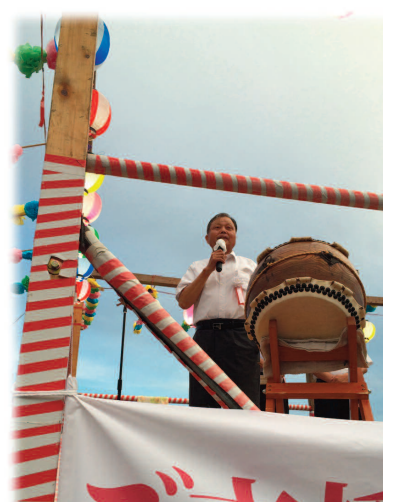
それでも、みなさんが資格と取るなどして、前向きに頑張っていたらいいですよ——と話をしているところに、「整膚の資格をとって、私の病院で働いてくれるんですよ」と、通りかかった女性を紹介してくださいました。双葉町から避難されている方です。

「この近くに家を買ったんです。子どもは喜んでくれました。私は、双葉町の家には2011年に一度だけしか帰っていません。だから、きれいなままの家しか見ていないんです。今は、あまり見たくないですね。」

ぼつぼつと、お話をしてくださいました。

「私は、お花—ガーベラを水耕栽培していました。このあたり(関東)にも卸していたんですよ。」

ふわっと明るい表情で、お花のお話をしてくださいました。「それが、今はまったく夫婦で違う仕事をしています。」と、ぼつり。



しばらくお話をしたあと、「今日は加須にいたとは知らなかった知人と会えましたよ」とにっこり立ち去っていかれました。焼きそばをかうと屋台に立ち寄ると——

「200食完売しました！」と笑顔のみなさん。日もすっかり暮れ、提灯の明かりの中、色とりどりのハッピが舞っていました。

(編集部/伊藤)

## 女性のための 電話相談ふくしま 0120-207-440

通話料無料/全国共通番号

相談時間 月～金(祝日除く)10時～17時  
主催:内閣府/福島県  
協力:女性の自立を応援する会/いわきふれあいサポート/郡山市/いわき市

### 一人で悩んでいませんか?

眠れない、生活、DV、孤独感、家族、人間関係、仕事、将来の不安。被災している方はもちろん、被災者を支援している方からの相談も対応します。秘密は厳守しますので、どうぞ安心してご相談ください。専門の相談員が担当しています(匿名でご相談いただけます)。



**3 双葉町老人クラブ女性会 & さいがいつながりカフェ**  
 10月2日, 11月6日 (木)  
**定例サロン**  
 月1回 9:30~11:30  
 いきいきサポートセンター  
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)  
 ☎ 080-5532-7380 (薄井さん)

**4 寄り添いステーション ころっせ くわっせ双葉**  
 10月13日 (月) 13:00-  
**第10回よりそいコンサート**  
 パストラル加須小ホール  
 不定休 13:00~  
 寄り添いステーション 騎西  
 加須市正能 11-5 ☎ 090-1650-2874 (富沢さん)

**5 加須の冒険遊び場 かぞびば**  
 10月4日, 18日, 11月1日, 15日  
**いつもの遊び場 焚き火・木登り・水遊び…思い切り遊べるよ!**  
 毎月第1, 3土曜日 10:00~15:00  
**騎西中央公園**  
 加須市 ☎ 080-6721-6858 (谷居さん)

**6 負けねっちゃきらり**  
 伊奈町 ☎ 090-7244-9267 (高橋さん)

**7 向原団地被災者の会**  
 10月11日, 11月8日 (土)  
**定例サロン**  
 (^) つながりましょう!  
 毎月第2土曜日 18:00~  
**向原団地集会所**  
 上尾市 ☎ 070-5322-2922 (富永さん)

**8 東日本大震災に咲く会 ひまわり**  
 10月4日, 11月1日 (土)  
**定例サロン**  
 毎月第1土曜日 10:00~12:00  
**シラコバト団地第一集会所** 上尾市  
 ☎ 048-607-6723 (団地自治会事務所)  
 ☎ 080-3091-6215 (橘さん)

**9 "想い"**  
 「東京電力による賠償説明会」の開催や、情報誌「想い」の発行。  
 鴻巣市 345shinohara@ezweb.ne.jp (篠原さん)

**11 羽生つながりカフェ**  
 10月12日 「浜通りは今・・・」  
**写真展 (パープル羽生まつり)**  
 11月9日 (日) **定例サロン**  
 毎月第2日曜日 13:00~15:00  
**パープル羽生 和室**  
 羽生市 ☎ 080-5532-7380 (薄井さん)

**12 お茶っこふるさと会**  
 10月22日, 11月19日 (水)  
**定例サロン**  
 毎月第4週の水曜日 10:00~15:00  
**ネット21 久喜事務所**  
 久喜市本町 2-1-59  
 ☎ 090-6855-7140 (木幡さん)

**10 ふるさと交流サロン**  
 11月15日 (土)  
**日帰りバスツアー**  
**詳細調整中**  
 隔月1回  
**コープみらい熊谷 メイト室**  
 熊谷市 ☎ 080-5430-5452 (駒宮さん)

**14 春日部 つながりカフェ**  
 10月16日 (木) **定例サロン**  
 11月19日 (木) (調理室)  
 毎月1回 13:30~16:00  
**コーププラザ春日部 3F 第1会議室**  
 ☎ 048-829-7400 (SSN)

**15 ひだまり広場**  
 10月19日, 11月16日 (日)  
 12:30~16:00  
 月1回 参加費無料 ほっと越谷  
 (越谷市男女共同参画センター・北越谷駅東口1分) ☎ 090-5829-6670 (矢澤さん)

**13 杉戸元気会 つつじの里サロン**  
 10月2日, 9日, 16日, 23日, 30日  
**定例サロン**  
 毎週木曜日 13:30~15:30  
**国家公務員宿舎杉戸住宅**  
 (つつじの里サロン) 杉戸住宅 6-301  
 ☎ 0480-31-0055  
 (つつじの里サロン事務局)

**21 梨の実スペース**  
 大熊町コミュニティ支援関東事務所  
 大熊町出身の復興支援員もお待ちしていますのでぜひ遊びにきてください! 金曜日以外にお越しの際は、事前にご連絡ください  
**毎週金曜日 10:00~16:00**  
**大熊町コミュニティ支援関東事務所**  
 さいたま市浦和区仲町 2-15-4  
 ☎ 048-711-7135

**22 浪江のしゃべり場 浦和の8豊間**  
 浪江町の復興支援員が常駐しています。お気軽に遊びに来てください。  
**月曜日~金曜日 10:00~17:00**  
**浪江町復興支援員 埼玉事務所**  
 さいたま市  
 ☎ 048-833-8731 (埼玉労福協)

**26 お茶のみ交流会**  
 市内に避難してきた方々の「お茶のみ交流会」を2か月に1回のペースで実施中。  
**隔月1回 10:00~12:30**  
**ふじみ野交流センター 2階視聴覚室**  
 富士見市  
 ☎ 049-251-2711 (富士見市安心安全課)

**27 おあがんなんしょ**  
 10月19日 (日) 11:00~ **野外炊飯場 BBQ と森林浴 in 森林公園**  
 11月16日 (日) 9:30~12:00  
**クリスマスアレンジづくり**  
 月1回 フクトピアほか  
**ふじみ野市**  
 ☎ 090-5345-8408 (松館さん)

**28 ここカフェ@川越**  
 10月19日 (日) **クラフトバッグづくり** 坂戸市福祉センター  
 11月29日 (土)  
**お子様連れも大歓迎です。**  
 毎月1回 10:00~15:00  
 ☎ 070-5080-4494 (鈴木さん)

1日 (土)	5 8
2日 (日)	6 
3日 (月)	文化の日
4日 (火)	
5日 (水)	
6日 (木)	3 13
7日 (金)	21
8日 (土)	7
9日 (日)	11
10日 (月)	
11日 (火)	
12日 (水)	
13日 (木)	13 17 19
14日 (金)	21
15日 (土)	5 10 24
16日 (日)	15 27
17日 (月)	
18日 (火)	
19日 (水)	12 14
20日 (木)	13
21日 (金)	0 21
22日 (土)	
23日 (日)	25 
24日 (月)	勤労感謝の日
25日 (火)	
26日 (水)	
27日 (木)	13 19
28日 (金)	21
29日 (土)	28 
30日 (日)	



**福玉 募金** を呼びかけています。  
 埼玉県内に避難されている福島・東北の方々と、互いに支えあう関係を、これからも。  
 『福玉1便り』編集委員会  
 連絡先: (一社) 埼玉労働者福祉協議会  
 電話 048-833-8731  
 メール: fukutama@431279.com

- 1 10月5日 (日) **ふくしまココロとカラダの健康相談会** 10:30~16:00 練馬区練馬 1-15-1 練馬すずしず診療所 <http://urx.nu/b500>
- 2 10月12日 (日) **原子力損害賠償支援機構による説明会・相談会** 10:00~ 越谷市 越谷市中央市民会館 ☎ 0120-330-540 (同機構)
- 3 10月18日 (土), 19日 (日) **中央区民フェスタ** さいたま市
- 4 10月19日 (日) **0(ゼロ)からの起業** 14:00~ **カフェ土瑠茶** (さいたま市浦和区仲町 4-11-14) <http://dolce.kmlw.net/>
- 5 10月26日 (日) **東武動物公園**
- 6 11月2日 (日) **コープフェスタ**

東北→福島→埼玉→福の玉が生まれ、  
ゆっぴりふくらんでいきますように...

# 福玉

ふく たま

## マップ&カレンダー

**1 双葉町民によるボランティアカフェ**  
 10月9日(木) →賠償勉強会です。  
 13:30～東電双葉町担当職員との懇談  
 月1回 10:00～15:00  
 いきいきサポートセンター  
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)  
 加須市駒西 501-13 ☎048-829-7400SSN)

**2 社協と地域と生協のサロン**  
 10月16日(木) 味噌汁とおにぎり  
 で地域の方々と情報交換の場に。  
 毎月第3木曜日 10:00～15:00  
 いきいきサポートセンター  
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)  
 加須市駒西 501-13

- 10月
- 1日(水)
  - 2日(木) 3 13
  - 3日(金) 21
  - 4日(土) 5 8
  - 5日(日) 1
  - 6日(月)
  - 7日(火)
  - 8日(水)
  - 9日(木) 1 13 17 19
  - 10日(金) 21
  - 11日(土) 7 10 24 29 32
  - 12日(日) 11 2
  - 13日(月) 4
  - 14日(火)
  - 15日(水)
  - 16日(木) 2 13 14 18
  - 17日(金) 21
  - 18日(土) 5 3
  - 19日(日) 15 27 28 3 4
  - 20日(月)
  - 21日(火)
  - 22日(水) 12
  - 23日(木) 13 19 29
  - 24日(金) 0 21
  - 25日(土)
  - 26日(日) 5
  - 27日(月)
  - 28日(火)
  - 29日(水) 0 福玉会議
  - 30日(木) 13
  - 31日(金) 21



**17 つながりの会**  
 10月9日, 11月13日(木)  
 東北復興支援販売  
 毎月第2木曜日 10:30～16:30  
 物産・観光情報センター  
 (草加駅西口徒歩1分) 草加市高砂 1-1-1  
 ☎048-932-6770 (草加市社協 地域福祉担当)

**18 ひまわりの会**  
 10月16日(木)  
 10:00～15:00  
 おしゃべりサロンと楽しい企画  
 毎月第2木曜日 10:00～15:00  
 やすらぎ会館(川口市社会福祉協議会)  
 川口市南鳩ヶ谷 6-8-16  
 ☎080-5431-0123 (島田さん)

**19 さいがい・つながりカフェ**  
 10月9日, 23日, 11月13日(木)  
 11月27日 三味線・音楽カフェ  
 (視聴覚セミナー室)  
 月2回木曜日 11:00～15:00  
 With You さいたま 4F 和室  
 (埼玉男女共同参画センター・新都心駅7分)  
 ☎048-601-3111 さいがい・つながりカフェ

**23 和光3・11 つながりカフェ**  
 隔月1回 つながりカフェ実行委員会・  
 和光市社会福祉協議会 ☎048-452-7606

**24 新座さいがい つながりカフェ**  
 10月11日, 11月15日(土)  
 定例サロン  
 月1回 土曜日 13:00～16:00  
 国家公務員宿舎 集会室  
 新座市 ☎090-2402-9155 (谷森さん)  
 ☎080-6023-2799 (福地さん)

**25 青空あおぞら**  
 10月26日, 11月23日(日)  
 定例サロン  
 お子様連れのパパママも安心して  
 ご参加ください。  
 毎月第4日曜日 13:30～16:00  
 新所沢公民館  
 所沢市 ☎048-829-7400 (SSN)

**29 鳩のつどい**  
 10月11日(土) パラソルカフェ  
 10月23日(木) 鳩のつどい  
 月2回 10:00～12:00  
 JAXA 鳩山宿舎 108号鳩山町  
 ☎049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)

**31 相双ふるさとネットワーク**  
 福島県相双地区から避難  
 した方々と地元出身者を中心と  
 するネットワークです。  
 月2回 10:00～12:00  
 JAXA 鳩山宿舎 108号鳩山町  
 ☎049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)

**0 福玉便り発送**  
 10月24日(金) 13:30～  
 11月21日(金)  
 おしゃべりしにきてくださいわ。  
**福玉便り**  
 お送りします。  
 ご希望の方には、  
 本紙を郵送でお送りします

10月19日(日) 謡曲の会 10:00～12:00  
 with you さいたま視聴覚センター 080-5532-7380 (薄井 00)

## 「福玉文化祭」を開催します。

福島県、双葉郡の皆さんは「芸達者」という噂を聞き、「福玉文化祭」を開催することにしました。そこで出演者の大募集です。自薦・他薦大歓迎ですが選定基準(ハードル)は高くしたいと思います。もちろん、プロの方もオーケーです。虹を架けようで好感度アップの福玉フレンドリーバンドも出演します。

◎開催日 2014年11月24日(月・祝日)午後1時30分開演(12時30分開場)

◎会場 さいたま市浦和区「さいたま市民ホール浦和・ホール」

◎募集 昼間、人前で披露できる芸であればオーケー(カラオケで1曲も可)

◎問合せ; 埼玉労福協(電話048-833-8731)まで



## ぼろろん♪クリスマス時間

日時:12月23日(火)10時~15時

場所:With You さいたまセミナー室  
親子で楽しいクリスマスの時間を過ごしませんか?是非、12月23日、予定に入れておいてくださいね。

詳細は、次号にて。問合せ:070-6651-9259(伊藤)

### 「ぼろろん♪カフェ」とは――

埼玉県にいる自主避難のお母さんたちの、ゆるやかなあつまりです。「縁側でお茶を飲みながら・・・というイメージを音楽で奏でたら「ぼろろん」という感じかな?」――そんな会話の中で生まれました。運営しているメンバーも、自主避難中のお母さんが中心です。

## NHK受信料の免除について

最近、「NHKの受信料を払え」としつこく督促され、やむなく払ったとの連絡を受けました。「原発事故で避難しているといっても、『関係ない』と言われた」とか「NHK・BSを観たいので受信料を払った」というケースもありました。いずれも「NHKの受信料は免除」となっており、支払う義務はありません。

不当な請求があった場合は、埼玉労福協(電話048-833-8731)までご連絡下さい。



「こっちゃん来たらいいべえ」は、2011年5月28日に加須市の旧騎西高校で第1回が開催され、以降、東京

都内各地、柏崎市、新潟市、郡山市、須賀川市などで開催されています。旧騎西高校では2011年11月、2012年1月にも開催されています。

この交流イベントは「NPO法人医療ネットワーク支援センター」が県外避難者への支援のために東日本大震災復興支援プロジェクト「healthaid(ヘルセイド)」として実施しているもので、福玉編集部も協力させて頂きました。

今回の「こっちゃん来たらいいべえ」は11月9日(日)、東京・水道橋で開催されるそうです。※詳しくは埼玉労福協までお問い合わせ下さい。

9月13日(土)第30回「こっちゃん来たらいいべえ」が開催されました。さいたま市浦和区でNTドコモ協賛の「こっちゃん来たらいいべえ」が開催され、埼玉、東京、神奈川に避難している150人が参加しました。

今回の「こっちゃん来たらいいべえ」は、都内(東雲団地や鷺宮団地、新宿百人町など)や神奈川県に避難されている方と埼玉県内に避難している方約150人が参加し、福島県・宮城県・大熊町の職員も参加し、都県を超えて交流できたという点で非常に意義ある交流会だったと思います。

## 福玉便りのお届け作業を一緒にやってくださる方、大募集

10月24日(金)13:30-16:00ごろ可能な時間で。場所:埼玉労福協

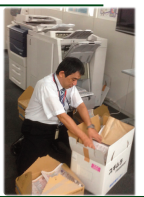
手も動かしますが、口のほうが多く動いていると言われています(笑)。たまたま時間あいてるよ、という方が、いらっやいましたら、ご連絡おまちします。



労福協048-833-8731まで。

## ありがとうございます!

本誌の印刷は、『富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部』(社員ボランティア)の皆様にも全面的にご協力いただいております。



●福玉募金の送金はこちらへ●郵便振替口座▶00160-0-291210・中央労働金庫▶さいたま支店普通預金6600705・○問▶認定NPO法人ハンズオン! 埼玉048-834-2052